

令和3年第6回江田島市公共交通協議会（令和4年3月22日）

協議会議事要点録

会議名	令和3年度 第6回江田島市公共交通協議会			
日時	令和4年3月22日（火）14時00分～15時45分			
場所	江田島市役所 4階会議室			
傍聴者	2名			
出席者	広島商船高等専門学校	教授【議長】	岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	大濱 博明	代理出席 種村 隆
	江田島バス株式会社	従業員代表	畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会長	仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	谷口 実	欠席
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	小跡 孝廣	代理出席 濱谷 一眞
	江田島市老人クラブ連合会	会長	古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会長	宇根 民子	○
	江田島市観光協会	会長	伊藤 富美雄	欠席
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	今岡 俊之	代理出席 武井 亜弥
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	石田 剛史	○
	広島県	交通対策担当課長	藤井 剛	代理出席 柴田 益良
	江田島警察署	地域交通課長	桑田 光太郎	○
	江田島市	副市長【会長】	土手 三生	○
	江田島市	企画部長	奥田 修三	○
江田島市	土木建築部長	水頭 顕治	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会長	土手会長あいさつ			
3 議 題				

<b>(1) 報告事項</b>	
<b>ア 広報えたじまへの連載記事について（資料1）</b>	
議長	<p>それでは、議題の報告事項に入ります。</p> <p>まずは、ア「広報えたじまへの連載記事」につきまして、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	－資料1により説明－
議長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
各委員	（質問・意見等なし）
<b>イ 路線バスの収益率、運行系統、運行回数及び時刻について（資料2）</b>	
議長	<p>続いて、報告事項のイ「路線バスの収益率、運行系統、運行回数及び時刻」につきまして、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	－資料2により説明－
議長	ただいま、事務局から報告がありました。分析結果や今後の見通しなどについて、江田島バス株式会社様から御意見等ございますでしょうか。
委員	<p>補足させていただく。収益について、総論的にコロナの影響は昨年度で底を打ったのは、体感としても数字としても出ている。令和2年の春以降、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言による学校の休校で、定期券の払い戻しが多かった。また令和3年度は、大きな観光イベントの相次ぐ中止により減収に拍車をかけたが、運賃収入については300万程度の増収で、定期券利用が戻ってきた。費用面では将来への投資が落ち着き、車両や総人件費の抑制に努めた。引き続き路線規模に応じた体制としたい。増収策としては特効薬はなく、市民1人1人にバスを利用させていただくことに尽きる。弊社でも本市の地形や人口分布を考慮しながら、船との接続を一層改善し、バス利用を促進できるよう検討・具体化したい。併せて市民である皆様には、引き続きバスのご利用をお願いしたい。</p>
議長	<p>ただいま、江田島バス(株)から補足説明がありました。</p> <p>本件について、御質問、御意見などはございませんか。</p>
委員	<p>地域で空白地の交通を支える事例はたくさんある。地域で車両を確保し、有料で運用しているところもある。そういう事例を参考にして、バスを長く続けられるようにしてほしい。</p>
議長	<p>バスだけで成り立つことはないため、いろんな方法をミックスしながら知恵を出し合いたい。公共交通は通勤時間帯に応じて車両や乗務員数が決まってくるため、鉄道でも通勤時間帯が混むほど赤字になるという話も聞く。それも理解した上で対策を練りたい。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。ないようでございます。</p> <p>イ「路線バスの収益率、運行系統、運行回数及び時刻」につきましては、終了します。</p>
<b>ウ 中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリングについて（資料3）</b>	
議長	<p>続いて、報告事項のウ「中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリング」につきまして、事務局から報告をお願いします。</p>

令和3年第6回江田島市公共交通協議会（令和4年3月22日）

事務局	－資料3により説明－
議長	ただいま事務局から説明がありました。広島県旅客船協会様から、追加説明等がありますか。
委員	<p>5年をタームとして2期目に入った。毎年利用者2%減を想定していたが、それが大きく崩れ、コロナの影響で2～3割減っている。バス事業の方ではすでに底を打ったという話があったが、こちらはまだ続いている。加えて燃料費高騰があり、当初より倍近い価格になっている。毎年4～5,000万円の赤字が出ており、知恵を絞り協力をいただきながらやっていかないと、航路を続けていくことが非常に厳しい。西能美は中町高田が20往復、三高が14往復しているが、3つの港に分かれており効率がよくない。早晚この3つの港の統廃合が必要になるかと思う。</p> <p>例えば、船の便は減っても完全にバスに接続することで、全ての便が有効便になるようにするなど。島の交通は数を確保するだけでなく、各地の住民が不便ないよう、健康に過ごすためのものだと思う。新聞では「島の病院おおたに」が遠隔でビデオ診断をし、ドローンで薬を届けるという事例が載っていた。例えば、県病院と公民館を遠隔で診断できるようにして、薬は船で運ぶこともできるだろう。交通はお年寄りの見守りや買い物代行も含め、市民の皆様に貢献していく必要があるかと思う。</p>
議長	航路事業者も工夫しようとしているとのことでした。このことについて、何か御質問、御意見はありますか。
委員	ニュー千鳥は2023年に更新される予定とされている。新造船ができればニュー千鳥はどうなるのか。
事務局	使わなくなった船については、売却する方針である。
委員	新造船のエンジンは小型のものを採用し、燃費の向上を図るとのことだったが、エンジンのメーカーはわかるか。
事務局	部品の汎用性も考慮し、ヤンマー商事株式会社のエンジンを予定している。
委員	三井ドイツのエンジンは故障が多い。ドイツから取り寄せる部品もあり、運休が長くなったこともあった。ヤンマーならすぐ部品調達できて安心である。ロイヤル千鳥はニュー千鳥と同じ平成5年に進水しているが、こちらについても新造船への切替や中古船の購入など、いつごろを予定しているのか。
事務局	今作っている船が令和3～4年の2年間でできる。市の財政も勘案して、翌年から新造船の更新を予定している。乗客数に合わせ、規模を縮小した船型にする想定でいる。
議長	<p>その他、ございませんでしょうか。ないようでございます。</p> <p>ウ「中町/宇品航路に係る指定管理者のモニタリング」につきましては、終了します。</p>
<b>エ 乗って江田島航路スタンプラリー及びおでかけ無料乗車 day について（資料4）</b>	
議長	それでは資料4について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料4により説明－

令和3年第6回江田島市公共交通協議会（令和4年3月22日）

議長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
委員	感想や気付きについて何点か。車の利用が多いのは承知しているが、人口構成からいっても65歳以上の割合が高く、利用者も高齢者が相当な割合である。事業展開では、高齢者向けに更なるPRをしていくこと、また、今回のアンケートでは10代以下がいないが、これから小学校にあがる子供にも、バスや船に乗り窓から景色を眺めることは、利用の良い動機付けになると思う。次年度は10代の子供や更なる高齢者を対象に、船の利用とも一体的にできればと思う。イベントとからめて、にぎやかな光景になるよう弊社も努力する。
事務局	アンケートは平日に実施したので10代以下の子供は学校があつて回答がなかったのだと思う。市民の中にはバスに乗ったことがない人もいるだろうと考え、機会創出のためにこの取組を実施した。もっとPRに努め、より多くの方にまずは乗ってもらい、便利なら毎日の移動に取り入れてもらえるようになるといい。また、スタンプラリーは、経費よりもスタンプラリー参加による運賃収入が上回った。もう少し手を加えるなど、やりようによっては増収につながるのではないかと。各社も実施されていることと思うが、メディアへの発信力があるのが市の強みなので、各交通事業者様の方で独自に取り組まれているイベントや事業があれば、積極的に市に声をかけてほしい。
委員	おでかけ無料乗車 day について反省点の説明があつたが、市民もほとんど知らなかったということである。広報紙は6～7割の人が読んでいないと思うので、その他の広報の手段が必要だと思う。イベント開催には賛成なので、例えば、献血をゆめタウンや藤三で行っているが、その日に無料デーを実施し、献血に協力してもらうのはどうか。 もう一点気になることが、沖美町からゆめタウンに行く際、中町港までおれんじ号、そこから路線バスへの乗り換えが必要になるため、かなり負担に感じる。これを直してもらわないと本格的な利用にはつながらないと思う。
事務局	広報誌の他に、facebook や中国新聞に掲載させていただいた。中国新聞については、11月の1回しか掲載をしてもらえなかったということもあるため、PRの方法は見直したい。献血との組み合わせは面白いアイデアだと思う。いただいた意見を参考に検討していきたい。
議長	ありがとうございました。ただいまの説明について、何か御質問あるいは御意見がありましたら、お願いします。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは、エ「乗って江田島航路スタンプラリー及びおでかけ無料乗車 day」について」は、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
<b>オ 令和4年度江田島市当初予算について（資料5）</b>	
議長	続いて、報告事項のオ「令和4年度江田島市当初予算」につきまして、事務局から報告をお願いします。
事務局	－資料5により説明－

令和3年第6回江田島市公共交通協議会（令和4年3月22日）

議長	ただいま、事務局から説明がありました。 本件について、御質問、御意見などはございませんか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは、オ「令和4年度江田島市当初予算」は、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
<b>（2）協議事項</b>	
<b>ア 江田島市地域公共交通計画（案）について（資料6）</b>	
議長	続いて、協議事項のア「江田島市地域公共交通計画（案）」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料6により説明－
議長	ただいま、事務局から説明がありました。 「江田島市地域公共交通計画（案）」について、パブリックコメントでの意見を踏まえて、計画内容の見直しを行い、本日の会議において、交通計画を取りまとめを行うとのことでした。 本日は、交通事業者や利用者代表など多くの方が集まっておりますので、江田島バス様から時計回りで、意見等があればご発言をお願いします。
委員	特段異議等はない。素晴らしい計画ができたと思う。
委員	船については、中町航路の県との協調補助の予算取りをしていただき、感謝している。新たに補助を設けていただいたので、このことも含め、バスとの連携や再々編に向け精進していきたい。
委員	バス、旅客船は島に不可欠の存在である。利便性の観点などいろいろあり、会社を維持するのは非常に大変なことであるが、今後ともよろしく願います。
委員	自治会は住民と一体で動いている。船、バスは住民が安心して利用できないといけない。しかし補助金など経費が非常にかかっており、厳しい状況であることは承知している。安心して住むことができ、学生が広島や呉にも進学できるような交通体系をこれからも継続して行ってほしい。ぜひよろしく願います。
委員	コロナ禍に続きガソリン値上げ・物価上昇などが起こっているが、なんとかこの厳しい状況を、皆さんと協力しながら切り抜けていきたい。
委員	この計画は5年間で達成していくもの。計画の中に「検討します」「図ります」という表現があるが、できるだけ早く進めてほしい。船とバスの接続率の向上についても2～3年中にということではなく、1年でも早く改善してほしい。
委員	船とバスの時間調整ができれば、もっと利用者が増えるのではないかと思う。スタンプラリーは私も参加したが、船内でスタンプがどこにあるか分かりにくかったため、チラシを貼っておくといいかもしれない。
委員	利用者が安全安心に利用していただけるよう、協力していきたい。
委員	非常に分かりやすい交通計画だと思うので、特に意見はない。
委員	計画中の事業8にて、県のMaaSに触れていただき有難い。持続可能な公共交通に向けて、県と市の連携はますます重要になると思う。引き続きよろしく願います。
委員	パブリックコメントの1番目、活性化再生法についての記述があり赤字を追加し

令和3年第6回江田島市公共交通協議会（令和4年3月22日）

	でもらったが、「地域に必要な移動手段を確保する」という目的を追記してほしい。「また」以降の部分は、計画の策定は、決して補助金をもらうためのものではないため、書きぶりを訂正してほしい。
委 員	人口減少、コロナ禍で交通事業者様にとっては非常に厳しい状況かと思う。島民にとっては航路の維持は絶対だと思うので、国とも連携し持続可能な公共交通網を形成していただきたい。今後ともよろしく願います。
委 員	地域公共交通計画はこの先5年間の計画となる。正直なところ、担当部長としてはもっと踏み込んで記載したかった部分はあるが、皆様の話にもあったとおり、利用者減少や燃料費高騰も重なり、市の公共交通は5年間で大きく変わっていくと思う。そのため、計画では基本理念と方針をきちんと定め、住民、事業者、行政、それぞれの立場でしっかり話し合っていきたいと考えているので、今後ともよろしく願います。
会 長	委員の皆様のご協力のおかげで無事計画ができた。しかし、実際に事業を進めていかなければ、計画の意味がなくなってしまう。このような協議会の場で皆様のご意見を聞きながら、実効性のある施策を進めていきたいと思うので、今後とも皆様のご協力をよろしく願います。
議 長	交通計画の施策において、「持続可能な」という守りに入るような表現になってしまうのは正直つらいところもある。各交通事業者様も様々な工夫をされているが、次は住人が参加するモード、例えばボランティア参画の交通形態も必要かなと感じている。仕事でもオンライン形式が増えてきて、移動そのものが減ったようにも感じる。5年間の中で、江田島市の交通の形は変わっていくのだろうと思う。
事務局委	計画の内容については、大体承認いただけたかと思う。先ほどご指摘のあった「はじめに」の記載については事務局で修正させていただく。その他、言葉遣いなどの軽微な修正については、事務局にお任せいただければと思う。
議 長	その他、御意見・御質問等はございませんでしょうか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	それでは、皆さまの意見を踏まえた上で、事務局において、最終的な交通計画の取りまとめをお願いしたいと思います。
<b>イ 令和4年度事業計画及び歳入歳出予算（案）について（資料7）</b>	
議 長	続いて、協議事項のイ「令和4年度事業計画及び歳入歳出予算（案）」につきましては、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料7により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	ないようでございます。 イ「令和4年度事業計画及び歳入歳出予算（案）」につきましては、終了します。
<b>4 その他</b>	

令和3年第6回江田島市公共交通協議会（令和4年3月22日）

議 長	事務局の方から、「その他」ございませんでしょうか。
事務局	<p>事務局から事務連絡が2点あります。</p> <p>まず1点目は、次回の協議会についてです。令和3年度の事業報告及び決算などについて、新年度の5月頃にお諮りしたいと考えております。会議日程が決まり次第お知らせしますので、御出席いただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、4月に入りましたら、事務局の方から委員の変更の有無を確認いたしますので、よろしくお願います。</p> <p>最後になりますが、本計画の案をご承諾いただきありがとうございます。</p> <p>計画というのはあくまで計画であるため、これに魂を込めていくのがこれからのスタートになるかと思えます。皆さんの知恵や力をお借りしながら、この計画に基づき、しっかりとした公共交通網を作っていけたらと思えますので今後ともよろしくお願います。</p> <p>皆さま、本当にありがとうございました。事務局からは以上です。</p>
議 長	その他、ございませんでしょうか。ないようでございます。
<b>5 閉 会</b>	
議 長	それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。